

令和 7 年度第 11 回都市経営会議 令和 7 年（2025 年）10 月 14 日（火）開催

I 令和 6 年度施策評価及び令和 6 年度夢・未来・たからづか創生総合戦略評価について （報告）

【報 告】 企画経営部

【質疑等】

- ・ 19～20 ページ「1-4 情報化」の総合評価欄に「標準化の取組を着実に進めるとともに」とあるが、この週末をもって、7 業務に関する国のガバメントクラウドへの移行が完了し、本日から標準化システムでの運用を開始した。今後、13 業務の移行が控えており、財政的・人的・市民サービスの面をはじめ影響が大きいと、今後も関係部署と連携しながら尽力していきたい。
- ・ 小さな課題は出てくると思うが、今のところ順調に運営できており、窓口等での混乱もないと聞いている。
- ・ 今回から施策評価の方法が行政評価委員会による外部評価ではなく、市長・副市長との対話による内部評価に変わった。これにより、現状と課題だけではなく、次年度の予算編成に向けての市長・副市長の考えが確認できるようになり、良いやり取りができたと感じている。行政評価委員会は元々、施策評価や事務事業評価、総合戦略など、行政マネジメントシステムについての調査審議を行う附属機関であったと思うが、同委員会は今後も今年度同様、総合戦略の評価のみを行う位置付けで良いか。今後の施策評価の進め方について、現時点での考えがあれば教えてほしい。

⇒ 今年度は、評価手法の見直し初年度に当たるため、時間的制約も含めて課題とすべき点も見つかった。

一方で、PDCA サイクルの強化を図るために対話を盛り込んだことについては理があったと考えている。そのため、12 月頃に実施予定の行政評価委員会の中で、外部評価委員の皆様のご意見もいただきながら、今年度の反省点を踏まえて次回以降の改善策を考えていきたい。

外部評価委員会の位置付けとしては、今年度は内部評価の充実を図るために総合戦略と交付金の評価のみをお願いしたところであるが、次年度以降は、例えば事業を絞って評価いただくなど、手法を考えながら外部評価を行っていきたい。具体的な手法については今後検討する。